



2012～2013年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2012～2013年度
国際ロータリー・テーマ

奉仕を通じて平和を
Peace through Service

国際ロータリー会長
田 中 作 次

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 渡 邊 文 敏 幹事 辛 嶋 崇 会報担当 長 野 定 生 クラブ広報委員長 長 野 定 生

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第1079回例会 平成24年7月19日(木)

●本日の例会プログラム 会員増強について
(会員増強・退会防止委員会)

◎次回例会プログラム 納涼夜間例会
(クラブ管理運営委員会親睦担当)



前回(1078回例会)の記録

平成24年7月12日(木)

■ゲスト

■ビジター

大分第一グループ

ガバナー補佐

佐竹 享会員(日田RC)

■出席報告

会 員 数 23名

免 除 者 数 2名

対 象 者 数 21名

本日出席者 15名

欠 席 者 数 6名

出 席 率 71.43%

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 5名

メイクアップ 3名

欠 席 者 2名

修正出席率 77.27%→ **90.91%**

●メイクアップ

熊谷会員(中津中央)・矢頭会員(中津中央)

岡野会員(中津中央)

●欠席者

松本会員・土居会員

◎ロータリーソング 我等の生業

◎会長の時間 会長 渡邊文敏

ジョギング、ウォーキングをしない人は、ウォーキングをする人の3.4倍、認知症になるリスクがあると聞きました。又最近、ドライバーの飛距離の落ち込みが特にひどい、という事で一念発起してウォーキングを始めています。

沖代公民館からD&Dまでの往復40分程度ですがゆっくり歩くと季節の移ろいを感じ、さわやかな気持ちになります。

最近「ゆっくり」が健康のキーワードだとする書籍がベストセラーになっていると聞きます。

ただ、この「ゆっくり」が許されないのが東日本大震災による被災地の復興であり、福島原発事故の収束です。

昨日で震災から1年4ヶ月が経ちました。まだ、生々しい記憶がよみがえってきます。

集積場に積み上げられた「瓦礫」の処理も遅々として進んでいません。北九州市をはじめ一部でその受け入れを表明している自治体もありますが激しい住民の反対にあっているように進んでいません。放射能が心配でなかなか理解してもらえないようです。

震災直後は日本中の多くの人から「東北コール」が沸きあがり「東北を忘れない、日本は一つ」という温かいエールが送られましたが、時間と共に消えてしまうのでしょうか？

「日本は一つ」の声を掛け声だけに終わらせず、形となって実を結ぶ事を心から願っています。

◎幹事報告 幹事 辛嶋 崇

●例会変更 中津中央RC7/31(火)→7/30(月)18:30～大田RC交換学



生送別例会、別府RC、別府東RC、別府中央RC

●週報受理 本渡RC、天草中央RC、宇佐RC

●幹事報告

・「2720地区ロータリー専任卓話者集団」結成のお知らせ

・中津RCより8月プログラム

・中津中央RCより8月プログラム

・2012-13年度「RI超我の奉仕賞」の推薦について

●理事会報告

・8月例会プログラムの承認

・新入会員の所属委員会の決定

・新会員推薦の件、大銀大貞支店長の後任が向笠会員から推薦あり、承認。

◎その他報告事項

入会認証式 小野嘉之会員

二反田さんより「チャーターメンバーでしょ？」ということで説得されて戻ってまいりました。これからよろしくお願いいたします。

大分第一グループガバナー補佐

佐竹 享会員(日田RC)挨拶

中津平成ロータリークラブの皆さま、本年度岡村ガバナーからガバナー補佐を拝命いたしました佐竹享(すすむ)でございます。

日田ロータリークラブ所属で、ロータリー歴24年、職業分類は金属製造でございます。よろしくお願い申し上げます。

日本人3人目のRI会長となられた田中作次会長のテーマ「Peace



「奉仕を通じて平和を」 “Peace through Service”



2012～2013年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei

2012～2013年度
国際ロータリー・テーマ奉仕を通じて平和を
Peace through Service

Trough Service」 「奉仕を通じて平和を」を全世界の会員が心に刻み、実行していくことで、世界の紛争を少しでも減らせたいと思います。また、第2720地区では岡村ガバナーのスローガン「One Heart」 「心をひとつに」 みんなで心を合わせ物事にあたろう、行動を一緒に起こそうと言われている。特にその中で「チャレンジ2720プロジェクト」は国内の地区で会員数の減少する中、2720地区では一昨年、昨年と微増を続けています。本年度4月末現在2440名の会員が在籍しています。それを280人増員して地区名と同じ数2720名までの増員、各クラブ約10%の会員増を図ろうとする活動です。ぜひ、10%の会員増に力を注いでくださるよう、お願い致します。

また、木下バスターガバナー、本田バスターガバナー、岡村ガバナーと2720地区の改善に取り組んでいます。そのひとつが地区事務所を固定化し、地区ガバナー事務所、ガバナーエレクト事務所を地区事務所に併設するというものです。次年度、赤山ガバナーエレクトから実現できると考えられます。これも日本のほとんどの地区で経費節減、利便性を考えて行われているそうです。

また、今まで分区分けと言われていたものをグループと言いかえました。私は大分第一グループのガバナー補佐となります。

また、岡村ガバナーはグループ内の交流、グループとグループの交流を盛んにしようと言われている。その手始めとして、グループ内6クラブの会長・幹事交流会ができたかと思っています。その和を広げ、グループ内の交流につなげたいと思っています。

終わりに、本年度の皆さまのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。中津平成ロータリークラブのさらなるご繁栄、会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。挨拶といたします。

今後一年間よろしくお祈り申し上げます。

◎ニコニコボックス 担当：クラブ広報委員会

【大分第一グループガバナー補佐 佐竹 享会員(日田RC)】初めて中津平成RCを訪ねさせていただきました。

【渡邊会長】小野さん、入会おめでとうございます。というより、ようこそ、おかえりなさいと言った方が良いでしょう。これからロータリーと一緒に楽しみましょう。

【出納会員】先週は大変大切な第1週の例会を欠席して申し訳ありませんでした。黒瀬さん、小野さんまた一緒に楽しくやりましょう。

【岡野会員】小野さん、また一緒に楽しくやりましょう。最終例会から欠席してすみませんでした。

【土居会員】私も第1週の例会を欠席してしまいました。申し訳ありません。とはいえ、黒瀬さん、おめでとうございます。一緒に楽しくやっていきましょう。小野さん、またよろしくお祈りします。

【若松会員】小野さんは非常に特技の多い方で、その中でも特に木工が得意です。みなさんのネームプレート入れも小野さんの手作りです。少し壊れているのですが、すぐ戻ってくるだろうということで、壊れたままにしてみました。小野さん、よろしくお祈りします。

【二反田会員】きつい言い方をして説教をした覚えはないんですが、とにかく戻ってきていただいて、ありがとうございます。またよろしくお祈りします。

【長野(修)会員】小野さん、おかえりなさい。良く車ですれ違いながら、早く戻ってきてくださいと言っていました。そして黒瀬さん、よろしくお祈りします。

来週からロンドンオリンピックのため8月15日まで出席できません。申し訳ありません。

【清源会員】去年の4月に入会しました清源です。黒瀬さん、小野さん、よろしくお祈りします。

第1週の例会を欠席しまして、申し訳ありません。また次回からきっちり出席しますのでよろしくお祈りします。

【梶原会員】小野さん、また楽しくやりましょう。

【辛島幹事】やっと小野さんの重い腰が上がったなという感じです。これから毎週出席してください。黒瀬さんもよろしくお祈りします。

【小野会員】入会が第1例会のはずでしたが、水害のため出席できませんでした。うちの家の内実家ですが、1メートルの高さの水が来て、東北の津波のように感じました。

【長野(定)会員】とりあえず、担当ということで、ニコニコします。

◎平成24年度活動方針発表

【田中作次RI会長 ビデオメッセージ鑑賞】

「平和」というのはよく耳にする言葉です。ニュースでも、日常会話でも良く聞きますし、ロータリーでも頻繁に口にする言葉ですが、私たちは、「平和」とは何なのか、どういうことなのかを、あまり考えることはありません。

一番簡単なのは、「平和」ではない状態がどのようなものかを語ることでしょう。つまり、戦争や暴力や恐れることのない状態のことです。飢餓や、弾圧や、貧困を恐れることのない状態です。

また逆に、「平和」を、それが何であるか、どういう可能性を秘めているのかで定義することもできます。そういう意味では「平和」は、発言と選択の自由であり、自己決定の権利であると定義できます。安全で安心できる未来を意味し、安定した社会での人生と家庭を意味するとも言えます。

そしてもっと抽象的に言うと、「平和」とは幸福感や心の平穏、静けさであるとも言えます。

「平和」が何を意味しているのかは、人によって違うのです。どの定義が正しいとか、間違っているとかということではなく、自分にとって「平和」が意味すること、それがまさに平和なのです。どのような

意味でこの言葉を使うにしても、ロータリーでそれを実現することができます。

ロータリーは、保健、衛生、食糧、教育などの人々の基本的なニーズに、最も必要とされている地域で応えることができます。

そして、友情、つながり、思いやりといった、私たちの心のニーズにも応えることができます。さらに、国や民俗間の友情と寛容を推進することで、ロータリーは、最も伝統的な意味での「平和」を、つまり、互いを理解し合う後押しをしてくれるのです。

ロータリーの奉仕を通じて、私たちは、大きな問題のように見えることでも、力を合わせれば、すぐに解決できることを学びます。人を思いやることを学びます。自分と違った境遇の人々と知り合うことで、人はみな同じであると理解できます。

ロータリーの奉仕を通じて、私たちは、何かを達成しようとするなら、対立より協力を選ぶのが得策であることを知ります。ほかの人の長所と短所、両方を尊重することを理解します。そして、どんな人からも必ず得るものがあり、教えられるものがあることを学びます。私は、「超我の奉仕」は単なる標語ではないと考えております。それは、誰の人生をも、さらに豊かで、有意義なものにする、生き方を示していると思います。

ロータリアンは、自分よりも、ほかの人のニーズを重視します。自分のためだけではなく、社会全体のために考えます。「超我の奉仕」という言葉は、人生で本当に大切なこと、エネルギーを注ぐべきことは何なのかを、私たちに教えてくれる言葉です。そうすることで、より平和な世界の基盤を築くことができると考えます。そこで私は、2012-13年度のロータリーのテーマを、「奉仕を通じて平和を」といたしました。それは、「平和」をどのように定義するにしても、私たちは奉仕を通じて、平和をもっと現実近くに近づけることができるからです。また、「超我の奉仕」は、人はみな自分だけでは生きていけないということを教えてくれます。人との関わりがない人生は、空しく、つまらないものですが、家族、地域社会、そして人類全体における自分の役割を常に意識して、つまり、人のために生きること、この世界における自分の役割がはつきりとなって見えてくるのです。

私は、「奉仕を通じて平和を」という概念に、難しい哲学はないと思っています。私は、哲学者ではありません。一介のビジネスマンです。ただ、ビジネスマンとしての長年の経験から、私は、事業を成功させるには、顧客の満足を追求する以外にないという結論に達しました。顧客に喜んでもらえれば、事業も成長します。そうすれば私自身も幸せになります。しかし、それは事業が成功しているからだけではなく、人を幸せにしてあげることができたという認識があるからです。

事業においても、人生においても、目標を達成したいなら、まず方向性を定めなければなりません。ロータリーは、RI戦略計画の目標と優先項目を、組織全体のロードマップとする決断を下しました。2012-13年度には、地区内のクラブにおいて「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」、公共イメージと認知度の向上」という、RI戦略計画の3つの優先項目に、一層の力を注いでいただくよう、皆さまにお願いしたいと思います。

また、広島、ベルリン、ホノルルで開かれる3回のロータリー世界平和フォーラムの推進にも、ご協力をお願いいたします。本協議会中に、この重要な行事について皆さまに情報が提供されます。皆さまの多くが推進に関与されるとともに、優先してご出席いただけることを願っております。

ロータリーのビジネスは、利益の追求ではなく、平和の追求です。ですから私たちにあって、報酬はお金を手に入れることではなく、自分の努力によってより良い、より平和な世界が実現するのを見届けることにあります。皆さま、本年度、「奉仕を通じて平和を」を、ロータリー活動の最重要点としていただくようお願いいたします。また、どのように定義するにせよ、「平和」がロータリーにとって究極の、そして実現可能な目標であることをご理解ください。平和は、協定や、政府や、大胆な闘争だけで達成するものではなく、日常の簡単な方法の積み重ねによって成し遂げるものであります。

ガバナーとしての一年間、「奉仕を通じて平和を」の精神をもって、ロータリーの究極の目標である平和な世界に向けて邁進していただくようお願い申し上げます。

【S.A.A. 二反田会員】

S.A.A.の活動としては毎年そう変わりはありません。やはり例会が第一。品位とマナーのある例会を行っていく。それに付け加えて、なごみ、楽しみを与え、会員のためになる例会を作って行きたいと思っています。例年通り会場は禁煙、6月から9月はクールビズを実施していく。

【クラブ管理運営委員会 出納会員】

活動計画は例年通り変化ありません。計画を粛々と遂行していくだけです。特に渡邊会長の方針でもある、姉妹クラブには特に力を入れていきます。

【奉仕プロジェクト委員会 熊谷会員】

4つの奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代への奉仕をしっかりやって行きます。社会奉仕は向笠公園の清掃事業を継続して行きます。国際奉仕はバンガラデシュの図書館への支援を継続します。新世代へは清浄園との交流をしっかりと行います。

【クラブ広報委員会 長野(定)会員】

今期の目標は「広報活動の充実」ということを目標とします。広報コストの削減、IT化等は当クラブにおいては十分だと考えます。そこで、IT化されたものの利用率を上げ、インターネット等を利用し、熟成されるべきだと考えました。